

## 「硬膜外鎮痛での産痛緩和が経膾分娩後の回復に及ぼす影響

### ～ ObsQoR10® JP を用いた後方視的観察研究～」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2021年01月01日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターにて経膾分娩となり、産後にObsQoR®10による問診を実施した患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

ObsQoR®10を用いて硬膜外麻酔が産後回復に与える影響を後方視的に比較することで、その影響に関する知見を得ることを目的としています。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後 ～ 2026年03月31日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年02月06日～

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

研究対象者の背景	年齢、性別、現病歴、既往歴、妊娠歴、合併症、身長、体重、BMI、薬歴
出生児の情報	出生週数、出生体重、Apgar Score、臍帯血 pH
分娩情報	分娩所要時間、器械分娩の有無、出血量
産後データ	ObsQoR®10

過去に当院にて行われた研究（IRB#2432）において同意が得られた、妊婦を対象とします。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報管

理者である畑山 裕生が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

産後に ObsQoR@10JP により問診を行った患者さんのアンケートデータおよび診療記録を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 野口 翔平（研究責任者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 野口 翔平

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3654（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：硬膜外鎮痛での産痛緩和が経膈分娩後の回復に及ぼす影響～ObsQoR10@ JP を用いた後方視的観察研究～

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 野口 翔平